



公共施設への太陽光発電・蓄電池の導入
昨年策定した「枕崎市分散型エネルギーインフラプロジェクト」においては、不安定な電力市場の状況により地域新電力の設立は見送ることとなりましたが、引き続き、マスタープランの再生可能エネルギー電力比率を2030年までに100%に高めるという目標を堅持し、公共施設への太陽光発電・蓄電池の導入を進める分散型電源強化事業に取り組んでまいります。

関係人口の創出
この3年間は感染対策を施しながらの人の移動、さまざまな制約の中での社会経済活動が一進一退で進んできたわ



特別国民体育大会
なぎなた競技会の開催
令和2年の開催が延期になった「燃ゆる感動かごしま国体なぎなた競技会」が、本年10月に「特別国民体育大会なぎなた競技会」として開催されます。全国47都道府県の代表選手を市民みんなで歓迎して、選手・指導者をはじめ大会スタッフ、ボランティアなど大会に携わっていただく全ての皆さんの思い出に残る素晴らしい大会に作り上げてまいります。

お魚センター大規模改修
株式会社枕崎お魚センターはコロナ禍で厳しい経営を強いられ、先の議会において財務体質安定化のため市が長期貸付を行ったところであります。本年度は、国の交付金等を活用した大規模改修を計画しており、本市の観光ランドマークとしての施設の価値向上を図り、交流人口の増加に

養豚場跡地の解体撤去および利活用の検討
近年多くのキャンプ客で賑わう火之神公園へのアクセス道路に面した養豚場跡地の土地を昨年購入し、新年度から年次的に老朽化した施設の解体、危険除去に取り組みます。昨年来、市の若手職員と市民の方に参加いただき、ワークショップ等を重ねて跡地の活用についての協議を進めておりますが、今後その活用について幅広いご意見を収集して、本市のさらなる魅力発信につながる基本構想について検討を続けてまいります。



つなげてまいります。

結びに
コロナ禍のもと、市民と社会を取り巻く不確実性が高

施政方針をホームページで公開
施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。
掲載ページ
【市長の部屋⇒施政方針⇒令和5年度施政方針】
▲施政方針全文

はじめに
令和5年3月議会の開会に当たり、市政運営の所信と基本方針についてご説明し、市議会ならびに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の感染が確認されたから3年以上が経過しましたが、本年5月8日には、感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の5類へ変更されることとなります。新年度は、この変更による社会的な影響、変化を見据えた行政運営が必要とされる、対応力が試される1年になります。

少子化対策
我が国の、特に地域が抱える大きな課題である人口減少、少子高齢化の中で、特に少子化の加速が、この枕崎市にも大きな課題としてのしかかっております。昨年からは、この少子化対策を、新年度の最も重要な課題として取り組むべく、庁内で準備を進めてきたところです。
子育て支援の拡充
少子化対策には二つの視点が必要であると考えます。一つには子育て支援の拡充です。「子育て支援」は私が掲げる公約の一つでもあります。

経済の活性化と産業競争力の向上
少子化対策のもう一つの視点は経済の視点です。第2期枕崎市地方創生総合戦略に掲げる四つの政策分野の一つ「若者とまちをつなぐ」に掲げる「若

の施設は、改正児童福祉法で各自自治体へ設置が求められている「こども家庭センター」の役割と災害発生時の福祉避難所としての役割を担うこととなります。議会の皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。
※保健センター設置事業費は3月定例会において当初予算案から削除修正されました。

い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための取り組みとして、子育て環境の整備に加えて、男女が結婚し、子どもを生み育てられる経済力を確保することが必要となります。働く場所の確保、雇用を増やしていくことが重要になり、そのためには本市経済の活性化は欠かせない課題となります。こちらも私の公約である「産業競争力の向上」に通じるものです。そのためには、総合戦略の政策分野の一つである「ひとと産業（仕事）をつなぐ」に掲げる「地場産業の振興と、地域経済の循環を創出すること、安定した雇用を創出するとともに、多様な人材の活躍を推進する」という目標達成のための各施策を、確



施政方針演説をする前田市長

令和5年度

枕崎市 施政方針

令和5年枕崎市議会第1回定例会が3月3日招集され、前田祝成市長が令和5年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。